



発行所 飯田市松尾公民館
編集人 松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷株式会社

コロナウイルス終息に願いを込めて



8月10日から29日の間、久井区集会所がイルミネーションで彩られた。コロナ禍でも何かできることはないか、との思いで久井分館文化部が企画...

常盤台区 道路補修作業 心残りが解消

7月5日に、常盤台区北の原団地北に位置する道路に、砂利を敷く道路補修作業が行われ、常盤台区新旧役員約20人が参加した。

出来た市道との境界部が露出、それにつまずくといった苦情が出ていた。昨年度飯田市に掛け合い、道路改良事業の一環として、砂利を用意してもらい、昨年度中には補修が終了する予定であったが、コロナウイルス感染症の影響で作業が出来ず、ようやく取り掛かることができた。

元建築業の区民からの助言もあり、ジョレン・スコップ・トンボを使い、作業は順調に進んだ。大型トラックでの踏み固めも行い、「プロ並みの出来」との声も上がった。余った砂利は集会所駐車場に敷き詰めた。



たことは本当に嬉しい」と語った。

ようこそ松尾へ

寺所区 中澤信幸さん 由季子さん



今回ご紹介するご家族は、寺所区のアパートに10年間暮らした後、寺所区に住宅を建てて5年近くになる中澤さんご家族です。家族構成はご夫婦と小学4年生の杜綺くん、小学2年生の心榎さんの元気な明るい家族です。

Q 出身地はどちらですか? A 信幸さん・由季子さん・共に安曇野市です。 Q 松尾に住もうと決めた理由は? A 「明るく朗らかな家庭」を目指しています。 Q 中澤家の家訓(家族の姿は)は何ですか? A 「明く朗らかな家庭」を目指しています。 Q ドッジボールは松尾小学校で取り組まれており、大会には積極的に参加しているそうです。信幸さんは4年生チームの監督を、由季さんは低学年チームのコーチをそれぞれ務めています。

センター異動

今年度の市役所人事異動により、新しく4人が着任しました。



センター職員 林 舞歩 センター職員 原 葉子



公民館管理係 壬生 寿美 保健師 矢澤 美枝

○センター職員 小木曾 誠(納税課)
○センター職員 佐藤みどり(市民課)
○保健師 吉川 貴子
(龍江自治振興センター)
○公民館管理係 植田 陽子(退職)

Q 松尾地区は平地も多く子どもが朗らかで優しく居心地が良いです。 A 松尾の印象はいかがですか? A 中澤さんご家族ですが、半年前から家族の一員に加わった豆柴犬の「なぎちゃん」動物を育てることの責任感も培っていきたくと話っていました。 Q ご協力ありがとうございました。

Table with 2 columns: Gender (男子, 女子) and Population (計, 世帯数). Total population: 13,010 as of August 31.

松風 「今年は楽しいな」「うまいことやったな」▼ 覚悟を決めて役を受けた。思いもよらぬコロナ禍に見舞われた。何一つ例年通りにはいかない。あれはどうする、これはどうなる。他地区はどうか? 数少ない役員で前例のない事態に右往左往する。何もできない。何もできませんと皆さんを集めて伝えることもできない。困った。通知文書を出さずとも。一から作る。そんな折、冒頭の言葉を掛けられた▼昨今は役を引き受けてくれる人を探すのに苦労する。何もできない今年が楽しいという人は、楽にすれば誰でも受け易くなるのかも。時代と共に増え続けた行事を、多忙な毎日の合間に何とかこなすやり方を、行事ゼロになった今こそ、見直すチャンスなのではないだろうか。本当に必要なこと、続けていきたいと思うことを、そこに住む皆で再考したらどうだろう▼小学校でも楽しみにしていた行事は全てなくなつた。ただ、約3カ月の休校を経た子供たちは、夏休みまでの日々を学校で過ごすことができた。子供たちを見守りながら授業を進めた先生の気苦労を思うと感謝の気持ちも溢れる▼いくつか学校にも行事が戻るだろう。より良い形になるかもしれない。そして今は通える日々にも感謝したい。行事はなくても普通の日々。それこそが実は尊い思い出になっていくのだから。

令和2年度 松尾地区のまちづくり 重点目標 ～第3次松尾地区基本構想から～

◎あなたと一緒に作る私たちのまち

- ・松尾への地域愛の醸成
- ・多様な価値観が共存する、新時代の地域コミュニティの創造
- ・住んで良かったな、と思えるまちへの進化

◎安全でゆとりのある生活空間の創出

鳩ヶ嶺八幡宮や天竜川を活かした新たな交流の促進

- ・リニア時代に向けた伊那谷の交通ネットワーク体系における地域内道路網の整備
- ・通学路、生活道路の安全の確保
- ・高齢者にやさしい移動方法の確立
- ・地域資源を活用した心ゆさぶる観光の推進
- ・工業、地場産業の活性化

◎豊かな自然と共存し、きれいで住みやすいまち

- ・積極的な空き家の活用
- ・ふるさとと川や里山について「学び」「守り」「親しむ」
- ・住民一人ひとりがゴミの分別・減量化の意識を持ち、きれいなまち
- ・歩行者に配慮し、交通事故のない安心して暮らせるまち
- ・近所同士のコミュニティを大切に、犯罪が起きないまち
- ・防災意識を高め、住民一人ひとりが助け合えるまち

◎人と人がつながり 心身ともに健康な あたかいまち

- ・いつまでもいきいきと暮らせる健康なまち
- ・地域で子育てや介護を支えあう福祉のまち
- ・子どもが自然の中で自由に遊べる場所づくり
- ・食文化の継承と創造
- ・子どもから高齢者まで「スポーツあふれるまち」の構築

令和元年度末、1期2年の任期を終えることができました。2年間大変お世話になりました。感謝申し上げます。年度末に地域振興部の推薦をいただき、未熟な私ではありますが2期目の会長をお受けしました。松尾まちづくり委員会の役員の皆様のご協力をお願いいたします。コロナウイルス感染症により



宮澤直人会長

会長あいさつ

令和2年度松尾地区まちづくり委員会総会は、コロナウイルス感染症防止対策のため、書面による表決総会となった。代議員41人に送付された令和元年度事業報告、会計決算及び監査報告、令和2年度事業計画についての書面表決書は、5月13日に開票確認が行われ、議案はすべて承認された。

まちづくり委員会総会 異例の書面議決

令和2年度の総会が開催できず、書面表決にて代議員の全員の賛成を得て承認をいただき本年度の事業が確定し、事業を推進して参ります。昨年飯田市に提案したスポーツパークHDA構想の一部、天竜グラウンドについて市教育委員会、産業経済課と話し合いを行い、ほぼ同意をいただき本年度末には松尾地区の管理の元「松尾天竜グラウンド」として出発することとなります。松尾区民の健康増進、健康温泉「ほっ湯アップル」の利用促進になるよう松尾地区民、飯田市民の健康増進の場所として期待しております。昨年度末松尾地区

基本構想が出され今後10年をめぐりに住みよい町づくりを進め、検証しながら松尾地区民の活躍の場所を提供していきたいと思っております。国道151号八幡町区交差点改良は本年度国の予算が付き測量に入ることにいたしました。早期完成を願っています。その他県道市道改良促進を進めてまいります。

令和2年度はコロナウイルス感染症により活動が縮小されておりますが一刻も早い終息を願っております。松尾地区民の笑顔が見られ活発な意見交換等ができれば幸いです。本年1年間よろしくお願いたします。



城区で床下浸水



毛賀沢川沿いでも陥没



毛賀地籍での倒木



毛賀沢川での擁壁とガードレールの崩落

大雨の被害甚大 金色洞川で内水排除

飯田市では6月30日から7月8日までの間、累積雨量が600mmを超え、地域によっては年間の3分の1余りの雨量を記録した。それに伴い、いたる所で浸水や土砂崩れが発生した。松尾地区でも、6月に入ってから長雨で地盤が緩んでいたところに、30日に大雨警報、7月8日には土砂災害警戒情報、大雨特別警報が発令されるほどの大雨が降り、城区では床下浸水、

毛賀地区では道路が陥没、毛賀沢川で土砂崩れが起きるなど地区内34カ所で被害があった。天竜川の水位上昇により、7月8日午前8時半前からポンプ車の運転をし、金色洞川の内水を毛賀沢川に排除する内水排除を行った。松尾地区では毎年、飯田市、地元協力業者、松尾地区まちづくり委員会が協力して内水排除訓練を行っている。今年度の訓練はコロナウイルスの感染防止のため小規模となったが、迅速かつ正確な対応がなされ、例年の訓練が活かされる格好となった。

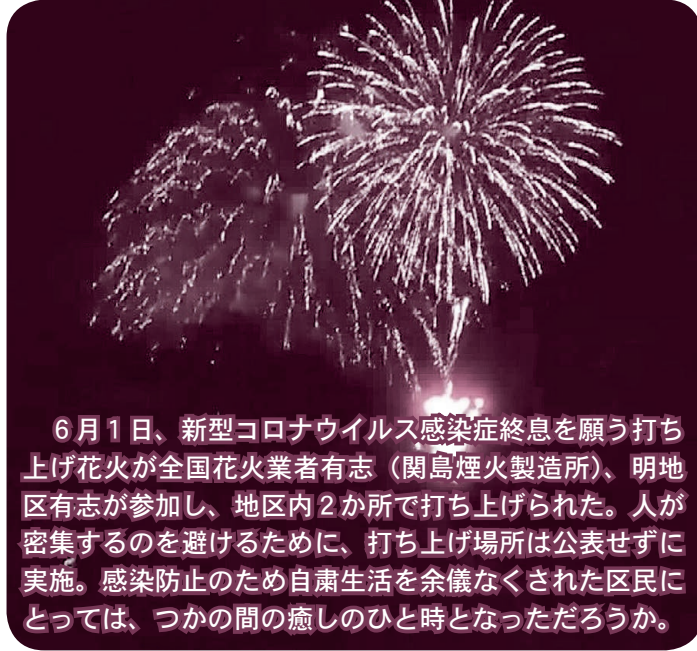
災害から命を守るための私たちの備え

令和2年3月、飯田市より「災害から命を守るための私たちの備え」として防災マップ災害予測図が2種類作成され各戸配布された。



令和2年度 まちづくり委員会役員等名簿

役職名	氏名	地区
会長	宮澤 直人	代田
副会長	池沼 良明	上溝
副会長兼会計(寺所区長)	鋤柄 富男	寺所
公民館長	下條 啓市	代田
総務部長	藤本 克広	新井
総務部副部長	恩田 豊美	清水
総務部副部長	仲村 晴子	城
地域振興部長(上溝区長)	小木曾 貴幸	上溝
生活安全部長	石原 茂	明
交通安全部長	久保田 賢	水城
環境衛生部長	平松 敏一	久井
健康福祉部長	仲村 博夫	城
青少年健全育成会長	松澤 秀明	代田
久井区長	丸山 正敏	久井
水城区長	塩澤 一広	水城
新井区長	今村 興志昭	新井
明区長	三浦 可取	明
清水区長	竹村 清海	清水
城区長	松村 宗一	城
八幡町区長	黒田 誠	八幡町
代田区長	奥村 和徳	代田
毛賀区長	木下 寛	毛賀
常盤台区長	福井 公文	常盤台
財産区管理委員長	櫻井 徹	代田
相談役(市議会議員)	村松 まり子	八幡町
相談役(市議会議員)	木下 徳康	毛賀
消防団第5分団長	田中 篤志	明
日赤奉仕団松尾分団長	下井 真由美	城
松尾地区民生児童委員協議会長	小澤 一仁	新井



6月1日、新型コロナウイルス感染症終息を願う打ち上げ花火が全国花火業者有志(関島煙火製造所)、明地区有志が参加し、地区内2カ所で打ち上げられた。人が密集するのを避けるために、打ち上げ場所は公表せずに実施。感染防止のため自粛生活を余儀なくされた区民にとっては、つかの間の癒しのひと時となっただろうか。

コロナ対策 避難所開設 訓練

8月30日、松尾地区自主防災会による地震総合防災訓練が松尾公民館で行われた。今年度はコロナウイルス感染症予防対策を含めた避難所開設、運営訓練と、防災資機材を実際に組み立て使用する訓練が行われた。参加者は感染防護服を着用し、検温による地区自主防災会に体験した。



フェイスシールドをつけて検温をする

令和2年度公民館事業計画 中止の事業が...

Table with columns: 開催月, イベント・行事名, 開催状況. Lists various events from April to December, many marked as '中止' (cancelled).

館長あいさつ



下條啓市館長

世界的流行のコロナ騒動の中、歴史の勉強の中で知った凄惨な決意をご紹介します。

世間で悪病が流行中の定め、諸商人や諸勸進をはじめ、他所者を一切村に入れては、流行病が終るまで、職人や商人は旅に出たり、悪病がはびこる隣村との出入りは禁止する。

がいて見舞いに行く時は二十日以内には帰宅しないこと。役場に申し出て指示を受けてから帰宅すること。一、流行病で死亡した者がいたら、その者の親兄弟の家から二人づつ、従兄弟、向三軒両隣の家から一人づつ立ち会い、印形を取り、その他の者は出入りしないこと。

プロの大工技能者より指導。8月7日、緑ヶ丘中学校は、技術部1・2年生(部員53人)を対象に木工教室を行った。



公民館とともに準備運営に当たった。飯田市内で地区の伝統として還暦の会を毎年行っているのは松尾地区だけである。

還暦の会 厳かに コロナウイルスの中でも中止することなく無事開催

還暦を迎えた飯田市の松尾地区の住民を祝う「還暦の会」が6月7日に、八幡町の鳩ヶ嶺区に於いて八幡宮で祈願祭のみ行われた。

令和2年度 公民館役員名簿

Table listing the names and positions of the citizens' hall staff members for the fiscal year 2020.



折願祭では、井原義雄宮司、遠藤信一氏子総代会会長、下條啓市公民館長、実行委員の出席者が玉串を捧げ、今後の安寧や地域の発展を願った。

ふれあいひろば。小学校が夏休みとなった8月7日、松ぼっくりに遊ぶ児童を対象に出張サイエンス「CDゴマを作ろう」が行われた。

コロナウイルス感染症対策のため、公民館閉鎖という今までにない環境の中、令和2年度最初のまつお新聞(251号)は3ヶ月遅れでの発行となりました。

松尾図書館 (公民館2階) 開館日 水曜 午後1~5時 土曜 午前10~午後5時 日曜 午後1~5時 本のリクエストも受け付けています。

コロナ感染症対策の渦中 小学校・中学校は? 「全国すべての学校を臨時休校するよう要請する」政府の方針が速報で流れたのは2月27日夜。教育現場は混乱の中、その対応に追われた。

コロナ感染防止策 悩める区長たち

変更になった事業（総会、評議員会など）どのように

清水区

清水区では、2月28日付でコロナ対策として『コロナ感染の発生及び拡大を防ぐ為の取組み』という事で、「3月16日までの行事・会議については、飯田市の方針に従い、納会や飲食を伴うものは中止、もしくは延期を検討するよう判断して、これ以後は状況を見て「さい」との通知が出された。それ以降もこのような通知が何回も出された。

清水区としては、総会の日程が4月11日という事で、松尾の中でも早い時期での開催で区民の意思決定に関わる大事な議題もあり、強行開催を決定した。松尾地区全体で、総会を開催したのは、結局上溝区と清水区のみ。代田区も開催を予定していたが、16日の非常事態宣言の全国拡大で、書面決議にしたそう。

清水区は4月1日の第1回評議員会は、換気をよくして短時間で行った。4月27日の第2回評議員会は、飯田市より市の施設の使用自粛通達を受け、文書配布の形をとった。その後5月以降は、出席者全員マスク着用で、空間を広く取り、換気を良くして、出来るだけ短時間で行っている。

松尾の各地区、嶺八幡宮及び毛賀諏訪神社

代田区

代田区長として事業を実施していくのは大変なことであるが、毎年決まったことを計画通りに実行していることに、達成感を感じている。

今年、これまで誰も経験したことがない状況。どの秋祭りが神事のみとなり、大きな事業が軒並み中止もしくは縮小という形で、子供から高齢者までが集まって楽しむことが難しくなってしまった。地区行事のそもそもの目的は、地区民のコミュニケーション、親睦を図ること。コミュニケーションの結束、それが「住民の皆さんの幸せに繋がる事」のはずだ。

かと言って、決して焦ってはいけない。このような状態がいつまで続くかわからないが、我慢をする時だと思つて、エチケットを守つて、上手にコミュニケーションを取っていく。

竹村清海さん談話

そんな中、よかつたこともあった。3月の総会が書面決議になったことで多くの意見が出た。おそらく顔を合わせては言いがらことも、書面だったことで、より出しやすくなったのだと思う。

水城区 御神田お田植元

5月31日、次年度年番区準備として、御神田のお田植元が行われた。

本年度、鳩ヶ嶺八幡宮秋季例大祭(年番・上溝区)は、コロナ禍で残念ながら神輿と煙火は中止となった。来年度、コロナ情勢はどう推移していくかわからない状況であるが、水城区はすでに

塩澤良明年番長が指名され、現在4役にて準備作業が進められている。

御神田は区内でコシヒカリの注連縄造りを予定していたが、藁丈が短く注連縄には不向きであることと、藁丈が長い農林22号の種もみを引き継いで

結果水城区には適した場所がなく、実績のある平成十八番会の協力で清水区内で作ることになった。

行く必要もあること、農林22号での作付けが可能か水城農家組合と協議した。



上溝区

キウイ伐採と単管撤去



巻き付いた枝を細かく切り落とす

7月5日、全市一斉の河川清掃終了後、神輿会を心の上溝集会所のキウイの伐採と単管撤去が行われた。元を切断、数カ月間枯らし壮年会と中

7月5日、全市一斉の河川清掃終了後、神輿会を心の上溝集会所のキウイの伐採と単管撤去が行われた。元を切断、数カ月間枯らし壮年会と中

建会も、集会所周りの草刈りを終えた後、この作業に参加した。この単管は、平成8年頃、祭りのひさし用として神輿にキウイも植えられた。その後、キウイは元気に葉を茂らせ、夏は涼しい日陰を掃掃の後、秋は数百個の実が提供し、秋は数百個の実が敬老会などで区民に配られた。二十数年が経過し、樹勢が衰え、昨年のうちに根元を切断、数カ月間枯らし壮年会と中

と巻き付いた枝をチェーンソーで少しずつ切断し、単管から解体していく。幸い、この種の作業に精通した数名の区民の活躍と、高所作業車、クレーン車の提供もあり、心配された雨も降らず、昼過ぎに無事終了した。コロナウイルス感染症流行の影響を受け、主だった行事の中止が続く中、これほど多数の区民が集まるのは3月の総会以来。久しぶりに上溝区の仲間の顔を見られる機会となった。

清水区



7月8日各区において避難所開設

7月8日午前6時43分に飯田市全域に避難勧告が発令された。清水区もコミュニティ消防センターに避難所を開設した。時間経過は以下のとおり。

- 6時30分 「土砂災害警戒情報発表」 飯田市危機管理室より市内全域へ「避難勧告」発令
- 6時43分 「大雨特別警報」発表 レベル4
- 7時7分 清水区コミュニティ消防センターへ避難所開設
- 7時30分 松尾本部より自主防災無線の開局要請
- 7時50分 清水区自主防災無線開局
- 10時20分 松尾本部より、避難者がいない地区については避難所閉鎖の指示
- 10時30分 清水区避難所閉鎖
- 以上、避難所へは執行部が待機。

防災（水害）に対して区としての考え（去年も避難所開設）

異常気象はここ数年、全国的に大災害を招いている。昨年の、長野市千曲川の決壊が記憶に新しい。秋雨前線によるものだが、最近よく聞く言葉が「線状降水帯」というもの。昨年の長野市の災害も少し場所が変われば、飯田市の天竜川でも起こっていた可能性が充分にある。こういった災害は今日日本のどこで起きてもおかしくない状況だ。これは、多くの人が感じている事。

そこに加えて「コロナウイルス感染症拡大防止対策」。盛んに言われている「三密」を避けて、いかに避難所を確保するかが問題である。一昨年に飯田市が提案した「パートナーシップ」協定も有効になると思う。このような時代になると、何でも避難所に避難することが良いとは言えなくなる。各自の災害に対する認識と判断力が自身の身を守る事になると思う。その情報提供等に区として何が出来るかを考えていきたい。

毛賀区

毛賀区は7月8日、11日に毛賀区民会館、13日に松尾公民館を避難所として開設した。



応接セット 差し上げます

松尾まちづくり委員会では、災害時対策本部として運用できるように、松尾公民館内談話室を改装しました。それに伴い不要となった応接セット（テーブル、ソファ）を差し上げます。一式をまとめて引き取っていただける方限定です。応募多数の場合は、電話連絡をもつて当選通知に代えさせていただきます。10月16日までに松尾公民館へ、住所、氏名、電話番号をご連絡ください。